

令和2年度ダビンチ(AO)入試スクーリング内容の公表について

<情報工学課程>

日 程	11月2日(土) 午前
プログラム	講義・レポート作成
ね ら い	講義内容の理解および結論の導出過程から、基礎学力、論理的に思考する能力や考えを的確に表現する能力をみる。
要 約	<p>木構造を用いたデータの探索法について講述した後、レポート課題を提示して総合的な理解力と表現能力を見た。</p> <p>最初に、木構造の基礎ならびに二分木を用いた値の集合の表現について講述した。次に、二分探索木を用いて、値の集合の中から特定の値を探索する方法について講述した。最後に、二分探索木的一种であるAVL木に対して、値の探索・挿入・削除を行う方法について講述した。これらの講義内容を包括するレポート課題を提示し、これに対する解答を求めた。これにより、講義内容の理解力、数学や国語に関する基礎学力、論理的に思考する能力、講義内容をベースとした応用力、考えを的確に表現する能力を評価した。(9時30分から12時00分まで)</p>

日 程	11月2日(土) 午後
プログラム	課題提示・グループディスカッション
ね ら い	提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力をみる。さらに、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力をみる。
要 約	<p>情報技術の活用が主となるムーンショット課題(現状の技術の延長線上には実現が見えないが、もし実現されれば社会的なインパクトが大きい課題)をグループディスカッションを通じて考案することを課題とした。</p> <p>提案するムーンショット課題として、(1)情報技術が主たる実現手段であること、(2)一言で、誰でも理解でき、インパクトのある目標であること、(3)目標とする技術からの波及効果が大きいことという条件を設け、これらの条件に適合する課題をグループで一つ提案させ、その内容や波及効果についてグループ毎に発表させた。</p> <p>採点者は、議論におけるリーダーシップの発揮、他者の意見に対する理解力、各自の発想力およびその表現能力、議論とりまとめへの協力姿勢、および発表能力に関して評価した。さらに、自分のグループのテーマにこだわらず各自が最も良いと考えるムーンショット課題について報告書を作成させ、その内容についても評価した。(13時00分から17時00分まで)</p>